



令和2年度 学校だより

北醍醐9月号

＜学校評価アンケート結果特別号＞



令和2年8月31日
京都市立北醍醐小学校
校長 城野 健司
TEL：075-572-5353

R2年度 学校評価アンケート回答傾向

項目	児童	実現度	保護者	実現度	教職員	実現度
①	学校に行くのは楽しい。	87.7%	お子さんは、安心して楽しく学校に通っている。	95.1%	「目指す子ども像」を意識して取り組み、児童が安心して活動できるよう教育活動を進めている。	93.3%
②	友だちにやさしくし、仲よく学習したり活動したりしている。	90.3%	お子さんは、友だちにやさしくし、互いに気もちよく関わり、仲よく学校生活を送っている。	97.9%	互いを大切にする子どもの育成のため、「～さんと呼ぶ」「正しい言葉遣い」を指導し、児童の身についてきている。	93.3%
③	自分からあいさつしている。	85.2%	お子さんは、家や地域で進んであいさつしている。	77.1%	進んで挨拶するような指導や褒める評価をし、子どもは意欲的に活動するようになってきている。	93.3%
④	困ったときや分からないときなどは、先生に相談している。	76.1%	学校は、子どもについて気軽に相談でき、適切に応じてくれる。	87.5%	子どもや保護者の相談に適切に応じられている。	85.7%
⑤	授業では、めあてを意識して学習し、わかったこと、わからなかったことをふりかえっている。	83.2%	お子さんからは、授業で積極的に学ぼうとする様子がうかがえる。	79.9%	ねらいを明確にし、教える事と児童が主体的に活動する事を計画し、児童の身についてきている。	90.9%
⑥	学校や家で、自分から読書している。	76.8%	お子さんは、読書に親しんでいる。	56.3%	読書や図書の活用を意図的に指導し、児童自らが進んで読書活動をするようになってきている。	91.7%
⑦	家で学年に合った家庭学習をしている。（1年生15分、2年生30分、3年生45分、4年生60分、5・6年生60分～90分）	67.7%	お子さんは、「15分×学年（5・6年生は60分～90分）」の家庭学習（宿題）の習慣が身についている。	74.3%	授業と家庭学習を連動させた課題や、読書活動を位置づけた家庭学習改善に取り組んでいる。	80.0%
⑧	学校のきまりや交通のルールを守っている。	92.3%	お子さんは、学校のきまりや安全のルールを意識し、守っている。	93.8%	きまりや安全のルールを守ることが行動化され、児童に定着してきている。	88.9%
⑨	毎日、決まった時間に早ね早おきをし、顔をあらって歯みがきをし、朝ごはんを食べて登校している。	80.6%	お子さんは、十分な睡眠をとり、早起き、洗顔、歯みがきをし、朝ごはんを食べるなど基本的な生活習慣が身についている。	93.1%	基本的習慣や自らの健康・命を守る意識の高揚と行動化に取り組み、児童の身についてきている。	94.4%
⑩	学校では、安全に気をつけて安心して活動している。	88.4%	学校は、安全面における適切な配慮をしている。	93.8%	ルール遵守や危険予測の指導を進め、自ら判断し適切に行動できる力や、社会的な規範意識の高揚に取り組み、児童に定着してきている。	81.3%
⑪	下級生に優しく接することや、自分が上級生になっていくことに楽しみを感じる。	84.5%	お子さんは、下級生を大切にしたり、上級生と仲よくしたりしている。	89.6%	児童は、縦割り活動を中心に仲間を大切にしたり、下級生に優しくしたりしている。	93.3%



この印刷物が不要になれば、「雑がみ」として古紙回収等へ！

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で

「子どもと共に育む京都市民憲章」を実践しましょう！



＜令和2年度 学校教育目標＞

未来に向かって 元気で たくましく 挑戦する子

～自分の良さを見つけ、他者と協働し、挑戦する子どもの育成～

☆自分の思いをもち、言葉で表現する子☆自分の考えをつくり、行動する子

☆物事を正しく判断し、安全に気づく子☆失敗を恐れず、チャレンジする子



令和2年度第1回「学校評価アンケート」にご協力いただき

ありがとうございました。結果をご報告いたします。

今回は、新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休業に関する学校の取組についてのご意見も多数いただき、ありがとうございました。

児童、保護者、教職員へのアンケート11項目を集計し、「よくできている」「大体できている」を合わせ＜実現度＞としてお伝えいたします。

今までにない状況の中、子どもたちが「すべきこと」や「自分ならできること」を成長段階に合わせて考え、工夫をしながらたくましく挑戦していけるよう、これからもご家庭と学校が共通理解を図りながら、力を合わせて子どもたちを見守っていききたいと思います。よろしくお願いします。



結果の分析

＜今後も伸ばしていきたいこと＞

項目②「友達にやさしくし、互いに気もちよく関わっている」については、児童・保護者・教職員の三者とも実現度は高く、友だちとの関わりを大切に、学校生活を送っている様子がうかがえます。今年度は特にコロナ禍の中、友だちと一緒に過ごせることの大切さや、相手を思いやる気持ちなど、子どもたちが感じている思いを大事に育てていきたいと思っています。

授業に臨む姿勢を問う項目⑤では、保護者から見る実現度は昨年度より若干下がったものの、児童・教職員では10ポイント以上の上昇が見られました。その日の授業のめあてを意識して学習に取り組み、学習を通して何がわかったのか客観的に自己を見つめ、成長を感じることは、学習意欲や成果の向上につながります。これからも、1時間1時間の学びを大切に学習を進めてまいります。

＜さらに取り組むべき課題＞

項目⑦「家庭学習（宿題）」および⑥「読書」の習慣については、実現度が低い結果となりました。学校の授業を通して『学び方』や『書籍の活用法や楽しみ方』を習得し、特に高学年において中学進学後の自学自習につながるような家庭学習の習慣づけを進めたいと思います。6年生では、中学校の定期テスト前の「学習計画表」を実際に活用してみる計画をしています。

また、項目⑪「上級生や下級生とのつながり」については、児童・保護者・教職員ともに昨年度に比べてポイントが下がりました。感染予防対策を実行する中で、たくさん学校の行事が中止になり、異学年間の交流が持ちにくい中ですが、なりたい自分の姿を思い描きながら自分の言動について考えられるよう、見守り、支援していききたいと思います。

～学校生活全体に関わる貴重なご意見をいただきました～

＜休校中の対応について＞

家庭学習に関して、さまざまなご意見をいただきました。児童によって、家庭学習の量が適切であったり、足りなかったり、多過ぎたりしたようです。また、その家庭学習の取り組み方を保護者の皆様に十分お伝え出来なかった点もご指摘いただきました。大切に受けとめ、今後の教育活動に生かしていきたいと思います。

その他にも、内容が予習的なものや難しいと感じるものがあり、児童並びに保護者の皆様に負担をかけていた点でもご意見をいただきました。

上記のご意見を踏まえながら、今後に備えていきたいと存じます。例えば、取り組み方を示した説明書と共にご理解いただき、その上で、各児童に合わせた家庭学習の量を決めてくださったり、内容的に難しいものは、学校再開後に取り組み直したりする等を前もってお知らせするようにいたします。

＜今後に備えて＞

リモート学習について

京都市では今回の休校措置での課題から、いち早くリモートでの学習相談や対話、オンライン授業に取り組むため、計画を大きく前倒してICTの環境整備に取り組んでいます。特に、中学3年と小学6年に関しては、本年度の9月中に、一人一台のタブレットを配布し、リモートで関わりがもてるよう準備を進めています。また、本年度中には、全児童にタブレットが（一家庭に一台）準備されます。リモートで関わりがもてるようICT環境の整備を進めているところです。

＜学校再開前後の取組に対して＞

学校再開後、学習内容を定着させるために、家庭学習の量が多いとご指摘がありました。特に1年生や低学年は、学校生活に慣れる間もなく授業が進み、児童への負担が大きかったと思います。また、6・7時間目の授業も児童に負担をかけているとご指摘がありました。児童の状況を丁寧に見取り、それぞれの情報を集約しながら、取り組み方やその内容をその都度考えてまいります。一方、学習内容の理解や定着を図る補習時間の拡大を求めご意見もいただきました。上記のように児童の負担にならない範囲で、今後も補習に取り組んでまいります。

再開に向けての情報発信が不十分だったとご意見をいただきました。今後も学校ホームページ、PTAメール配信システム、プリントや電話、家庭訪問などを効率的に組み合わせながら、更に適切で分かり易い情報発信に努めてまいります。

再開後の感染症防止対策について、不安を感じるとご意見をいただきました。学校としては、できる対策を行い、児童に指導しています。しかし、休憩時間や休み時間（遊び時間）には、一定の距離を置いたり、大きな声を控えたりすることが大変難しいです。自分や家族を守るという点から、今後も身につけなければならない行動様式なので、これからも繰り返して指導してまいります。各ご家庭でも引き続き声かけをお願いします。また、児童が自ら手の消毒をすることは、管理上、難しい面がありますので、こまめな手洗いを推奨してまいります。ご心配な点がある場合は、遠慮なくご意見をいただけると有難いです。

フッ化物洗口再開のご要望をいただきました。現在のところ、感染防止の観点から再開することは大変難しい状況です。また、ご家庭で実施していただくには、薬物を取り扱う上で、学校から洗口用の薬剤を各家庭に配布できない約束事があるため、こちらも難しい状況です。ご理解ください。

休校中の授業をどのように回復するのかというご質問をいただきました。

例えば、6年生を例に取り上げると、学習指導要領では年間の教科における総授業時数を1015時間と定めています。6年生は6月から、週に2回の7時間目授業を行い、夏休みと冬休みで7日間授業日を回復させます。これを3月の授業最終日まで積み上げた授業時数は、1073時間となります。しかし、1015時間には学校行事である保健行事（身体計測など）や宿泊行事（修学旅行）や儀式的行事（卒業式当日や練習）、体育的・文化的行事等の時間が含まれていないため、1015と1073時間の差（58時間）をこれらの行事に振り分けます。仮に、学校行事で35時間を活用した場合、授業時数のゆとりは（58－35）、23時間となります。この23時間を各教科に振り分けると、1教科当たり、2時間の余裕しか残りません。現在、このような状況で授業の回復に取り組んでいます。以下は、各学年の状況を示しています。

令和2年度授業時数					（単位：時間）
	教科の総授業時数	3月まで積み上げる授業時数		教科の総授業時数	3月まで積み上げる授業時数
1年生	860	896	4年生	1015	1044
2年生	925	966	5年生	1015	1077
3年生	980	1014	6年生	1015	1073

＜その他＞

熱中症予防に関してご意見をいただきました。学校としても、その予防には気を配っているところです。感染症防止の観点からエアコンを運転しながらも換気には十分注意して学習に取り組んでいます。また、息苦しいと感じた際には、マスクを外すように指導しています。特に室外（登下校を含む）で息苦しさを感じたときはマスクを外し、人との距離をとって行動するよう指導しています。また、休憩時間には水分をとるよう声をかけていますが、確認の声かけもしてまいります。

給食の喫食量に関してお尋ねをいただきました。もちろん、個人差はありますが、児童が食する量は管理栄養士が、その学年に応じたエネルギー量などを計算し、それに見合った量を提示しております。ちなみに、ホームページに掲載しています給食の写真は、中学年の児童を基準にしたサンプル量です。

防犯面でご注意をいただきました。どの通用門においても、開門や閉門の時間帯を決めていますが、再度確認し、徹底を図ってまいります。

PTA活動について、前向きなご意見をいただきました。PTA本部の皆様にもお伝えし検討させていただきます。

大変多くの貴重なご意見を様々な角度から伺うことができました。あっては困ることですが、更なる備えを考えるため、筆を執っていただきましたことにお礼申し上げます。

また、たくさんのお褒めの言葉や感謝の意を伝えてくださり有難く存じます。子どもたちが、安心して家庭や学校での生活に臨めるよう今後ともご協力の程、宜しくお願い申し上げます。